



心豊かな人生は人と言葉の出会いから！

生徒の皆さん、最近本は読みましたか。

文化庁が5年ごとに調査し、9月に公表した16歳以上で1か月に1冊も本を「読まない」とした人が、前回の調査より15ポイント以上大きく増加して、初めて6割を超えたことが分かりました。

読書量が減った理由を複数回答で尋ねたところ、「スマホやタブレットなどの情報機器で時間が取られる」が44%で最も多く、15



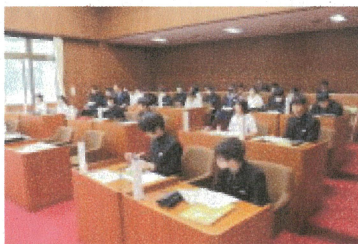
【10月 2年文化祭発表】

年前と比べると3倍に増加しました。

文化庁の担当者は、「ネットやSNSの文章は短く、簡単に読めてしまう。本でまとまった量を読むことは、思考力を身に付ける上でとても重要だ」と話しています。

最近、ベストセラーとなっている『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』の著者である三宅香帆さんは、「読書は、他人のことを想像したり、自分だけの思考にとどまらないで、いろいろな人の意見を聞いたりすることの練習になった」と語っておられます。

本を読むことは根気が必要ですが、知識が豊富になるだけでなく、教養が高まり、そして心豊かな人生になると思います。



【10月 3年子ども議会】

私は月に3～5冊ぐらい本を読んでいます。心に残った文章や言葉はノートに書き記し、今では6冊になりました。私の中学校時代の恩師の先生が退職してまとめられた冊子の中に、「人生はどんな人物に出会い、どんな言葉に出会ったかで決まる」と書いてありました。

携帯電話やタブレットの使い方は大丈夫？

最近、テレビや新聞では、「闇バイト」という言葉がよく出てくるようになりました。関東を中心に、闇バイトで初めて集まった若者達が、高齢者宅に侵入して強盗に入り、金品を奪うという事件が多発しています。今月、熊本県でも高校生や若者の逮捕者が出ました。

闇バイトは、SNSやインターネット掲示板などで、短時間に高収入が得られると甘い言葉で募集し、応募してしまうと、犯罪組織に利用され、犯罪者になってしまいます。



【11月 県駅伝大会女子チーム】

やめたいと思っても、応募のときに送った身分証明書から「家に行く」「家族に危害を加える」と脅され、警察に逮捕されるまでやめられません。逮捕されたあとに待ち受けるのは、刑務所での懲役や被害者への損害賠償です。

学校では、インターネット上で、自分や友達の個人情報及び写真などは絶対に送らないと指導しています。携帯電話などの情報機器は、使い方次第では自分の身体や生命に危害が生じるおそれがあり、犯罪行為に加担することにもなります。

水俣の水光社会店やコンビニで買い物をしていると、「校長先生」と声をかけてくれる高校生に時々会います。その高校生達に共通することは、私が前任校の中学校で、昼休みや放課後に数学を教えていた生徒でした。最初は嫌がっていましたが、途中からは「昼休み、補習はしないんですか」と自分からお願いしてくるようになりました。すべての生徒が勉強は分らない。そして、自分のために個別に指導してくれた先生への感謝の気持ちは忘れないんだなと改めて思いました。管理職になる前、私が仕事で一番力を入れていたのは数学の授業でした。全員が分かるように、数学が苦手な生徒をよく指名して何度も説明させました。また、授業の3～4回ごとに小テストを実施し、昼休みや放課後に再テストをしました。生徒が嫌がらないように、短期間(3日間)、短時間(5～10分)で行いました。